

書名左の冊数欄にご希望の冊数をご記入頂き、下記FAXまたはメールにてご注文下さい。(送料弊社負担)
本チラシ未掲載の書籍については、末尾の記入欄に書名と本体価格をご記入下さい。特価にて販売致します。
(Eメールにてご注文の場合は、学会特価の旨お書き添え下さい。なお、書店・生協様等でのご注文には下記特価は適用となりません。)

ご注文:FAX03-3811-3580 または order@shinzansha.co.jp まで

お名前:

ご所属:

肩書:

〒

ご住所:

電話:

FAX:

E-Mail:

冊数	書 名	編著者	税込価格		特 価
新刊					
	国際法秩序とグローバル経済 間宮勇先生追悼	柳原正治 兼原淳子 森川幸一 濱田太郎 編	¥27,500	→	¥23,400
	国際関係と法の支配 小和田恒国際司法裁判所裁判官退任記念	岩沢雄司 岡野正敬 編集代表 浅田正彦 河野真理子 三上正裕 村瀬信也 薬師寺公夫 柳井俊二 編集委員	¥33,000	→	¥28,100
	国際機関のリーガル・アドバイザー	吉田晶子	¥1,980	→	¥1,700
	国際人権・刑事法概論(第2版)	尾崎久仁子	¥4,290	→	¥3,700
	随想・社会時評・講演録〔別巻Ⅱ〕 【芹田健太郎著作集 第13巻】 全13巻完結！	芹田健太郎	¥10,450	→	¥8,900
→バックナンバーご注文 『芹田健太郎著作集』第【 】巻×【 】冊, 第【 】巻×【 】冊					
	新ブリッジブック国際法入門	芹田健太郎	¥2,200	→	¥1,900
	国家による一方的意思表示と国際法	中谷和弘	¥4,180	→	¥3,600
	国際法研究 第9号	岩沢雄司 中谷和弘 責任編集	¥3,520	→	¥3,000
→バックナンバーご注文 『国際法研究』第【 】号×【 】冊, 第【 】号×【 】冊					
	国際私法年報 第22号	国際私法学会 編	¥3,520	→	¥3,000
→バックナンバーご注文 『国際私法年報』第【 】号×【 】冊, 第【 】号×【 】冊					
	核不拡散条約50年と核軍縮の進展	黒澤満	¥9,680	→	¥8,300
	侮ってはならない中国—いま日本の海で何が起きているのか	坂元茂樹	¥968	→	¥900
	東南アジア外交—ポスト冷戦期の軌跡	加納雄大	¥3,080	→	¥2,700
	核の透明性	西田充	¥8,580	→	¥7,300
	国際機構間関係論—欧州人権保障の制度力学	大道寺隆也	¥6,380	→	¥5,500
	国際的権利保護制度の構築—多様な権利と国際民事執行・保全法	酒井一 編	¥7,920	→	¥6,800
	新海商法	小林登	¥9,680	→	¥8,300
	漁業法制史 上	辻信一	¥13,200	→	¥11,300
	漁業法制史 下	辻信一	¥13,200	→	¥11,300
	国際人権 第31号	国際人権法学会 編	¥3,630	→	¥3,100
→バックナンバーご注文 『国際人権』第【 】号×【 】冊, 第【 】号×【 】冊 ※1,4,5,7,8,9号品切れ					
	人権判例報第2号	小畑郁 江島晶子 責任編集	¥3,080	→	¥2,700
→バックナンバーご注文 『人権判例報』第【 】号×【 】冊, 第【 】号×【 】冊					
	EU法研究 第10号	中西優美子 責任編集	¥3,850	→	¥3,300
→バックナンバーご注文 『EU法研究』第【 】号×【 】冊, 第【 】号×【 】冊					
既刊好評書籍					
	国際貿易紛争処理の法的課題	阿部克則 関根豪政 編著	¥7,920	→	¥6,800
	実証の国際法学の継承 安藤仁介先生追悼	芹田健太郎 坂元茂樹 薬師寺公夫 浅田正彦 酒井啓亘 編	¥25,300	→	¥21,600
	実証の国際法学	安藤仁介 著 芹田健太郎 薬師寺公夫 坂元茂樹ほか編集委員	¥13,200	→	¥11,300
	ヨーロッパ人権裁判所の判例Ⅱ	小畑郁 江島晶子 北村泰三 建石真公子 戸波江二 編	¥10,780	→	¥9,200
	ヨーロッパ人権裁判所の判例Ⅰ	戸波江二 北村泰三 建石真公子 小畑郁 江島晶子 編	¥10,780	→	¥9,200
	国際刑事手続法の体系—「プレミス理論」と一事不再理原則	越智萌	¥8,580	→	¥7,300
	国際人権法	芹田健太郎	¥7,480	→	¥6,400
	日本の海洋政策と海洋法(増補第2版)	坂元茂樹	¥9,680	→	¥8,300
	人権条約の解釈と適用	坂元茂樹	¥8,360	→	¥7,200
	国連総会の葛藤と創造—国連の組織、財政、交渉	岩谷暢子	¥5,280	→	¥4,500
	国際法実践論集	小松一郎 著／御巫智洋 編	¥5,500	→	¥4,700
	漁業資源管理の法と政策	児矢野マリ 編	¥5,280	→	¥4,500
	国際裁判の証拠法論	中島啓	¥9,680	→	¥8,300
	コンパクト学習条約集(第3版)	芹田健太郎 編集代表 森川俊孝 黒神直純 林美香 李禎之 新井京 小林友彦 前田直子 編集委員	¥1,650	→	¥1,500
	書名:	本体価格:			
	書名:	本体価格:			
	書名:	本体価格:			

国際法秩序と グローバル経済

間宮勇先生追悼

現代国際社会が抱える喫緊の諸課題を考察

A5変・上製箱入り・680頁 定価：本体25,000円（税別） ISBN978-4-7972-8124-8 C3332



【目次】

◆第Ⅰ部 海洋と安全保障

- 1 日本における領海の範囲に関する先例—外務省条約局編『国際法先例彙輯（7）領海ノ範囲』を素材として〔柳原正治〕
- 2 海上警備行動の国際法上の根拠についての一考察—海上自衛隊の中東地域派遣をめぐる議論を手掛かりに〔森川幸一〕
- 3 海洋法からみた「パンデミック国際法」—寄港国措置を中心に〔兼原敦子〕
- 4 核兵器製造企業への投資規制〔小倉康久〕
- 5 強制技術移転と国際法—経済の安全保障化時代における国際社会の課題〔平見健太〕

◆第Ⅱ部 国家主権と人権

- 6 国家管轄権作用分類の再検討—二分類論の機能的特徴と基盤〔森田章夫〕
- 7 憲法のデザイン—パンデミックを契機として人権志向型を目指す〔江島晶子〕
- 8 アフリカ人権憲章における個人の義務—国際人権法上の義務的側面〔戸田修司〕

◆第Ⅲ部 世界貿易機関

- 9 WTO協定はいかなる「市場経済」体制を想定しているか〔米谷三以〕
- 10 我が国裁判所におけるWTO協定の直接適用及び条約適合性審査の現在—豚肉差額関税訴訟判決の批判的検討〔川瀬剛志〕
- 11 WTO協定解釈に関する上級委員会の任務と加盟国の権限—上級委員会改革に関する一試案〔福永有夏〕

- 12 WTO紛争処理における秘密情報保護〔阿部克則〕
- 13 衛生植物検疫上の適切な保護水準の決定における加盟国の自律性〔濱田太郎〕
- 14 米国の政府調達に関する国産品優遇条項における原産地規則の運用のWTO政府調達協定との整合性〔小林友彦〕
- 15 我が国の政府調達苦情処理体制におけるWTO政府調達協定の解釈の展開〔関根豪政〕

◆第Ⅳ部 開発と環境

- 16 SDGs（持続可能な開発目標）と自主的持続可能性基準（VSS）〔中川淳司〕
- 17 開発の国際法の再生—『開発の国際法』（2019年）を手がかりとして〔小寺智史〕
- 18 国連初期における自決概念の法的位置づけとその変容〔伊藤一頼〕
- 19 環境影響評価に関する国際法の発展と日本〔児矢野マリ〕

◆第Ⅴ部 欧州連合

- 20 EU法秩序の位置—法秩序の独立と国際法・EU法〔須網隆夫〕
- 21 EUの拡大・深化の投資条約への影響〔猪瀬貴道〕
- 22 EUにおける残留農薬のリスク評価および管理—遺伝毒性発がん物質と国際通商に関する予備的考察〔石川義道〕

《特別寄稿》

- 23 Doer（実践者）に徹した間宮さんの思い〔大六野耕作〕
- ・間宮勇先生略歴／業績（巻末）

2021 年 8 月新刊

岩沢雄司・岡野正敬 編集代表

国際関係と法の支配

—小和田恒国際司法裁判所裁判官退任記念—

A5判・上製・1470 頁 定価：本体 30,000 円（税別） ISBN978-4-7972-5600-0 C3332

法の正義による国際法を実践

57 名の第一線の研究者、実務家が一堂に集い、小和田恒裁判官の国際司法裁判所裁判官退任を記念し、小和田裁判官に捧ぐ書

外交官・法律家・教育者として法の正義による国際法を実践してきた、小和田恒裁判官の国際司法裁判所裁判官退任を記念し、小和田裁判官に捧ぐ、57 名の同志による記念論文集。「第 1 部 国際法部門」は 7 章にわたり 34 論文、「第 2 部 国際関係論部門」は 2 つの章で 12 論文、「第 3 部 随想部門」（外務省時代 / 東大時代 / 国際司法裁判所時代）は 17 本を収録。加えて、「国際関係と国際法」〔小和田恒〕も収録した充実の書。

編集委員

岩沢雄司・岡野正敬・浅田正彦・河野真理子
三上正裕・村瀬信也・薬師寺公夫・柳井俊二



執筆者

岩沢雄司・岡野正敬・玉田大・江藤淳一・大森正仁・酒井啓亘・佐藤義明
河野真理子・兼原敦子・石塚智佐・柳井俊二・高柴優貴子・松井芳郎・最上敏樹
杉山晋輔・村瀬信也・長谷川正国・森田章夫・薬師寺公夫・三好正弘・中谷和弘
中村仁威・尾崎久仁子・古谷修一・三上正裕・植木俊哉・吾郷眞一・佐藤哲夫
廣部和也・西海真樹・坂元茂樹・田中清久・御巫智洋・浅田正彦・青山健郎
廣瀬和子・山影進・田中明彦・山本吉宣・猪口孝・佐藤安信・茂田宏・旭英昭
赤松秀一・角茂樹・金城亜紀／＜随筆＞加藤良三・兼原信克・竹内行夫
鶴岡公二・林貞行・上川陽子・小林賢一・佐藤地・望月敏夫・折田正樹
芹田健太郎（掲載順）



信山社

<http://www.shinzansha.co.jp>

岩沢雄司・中谷和弘 責任編集

国際法研究

2021 年 3 月新刊

第 9 号

菊変・並製・208頁 定価：本体3,200円（税別） ISBN978-4-7972-6569-9 C3332

国際法に関する研究・実務の総合的検討



国際法の研究者や実務家による、国際法学の一層の発展を目指す、定評の研究雑誌。信頼ある編集・執筆陣が国際法学の基底にある蓄積とその最先端を、広範かつ精緻に検討。理論・実務に有用な研究雑誌、待望の第 9 号。本号も実務家と研究者が一堂に集い、益々充実。国際人道法研究会による「国際刑事裁判所の判例」の第一弾も掲載。

【目次】

- ◆宇宙物体の「国籍」〔青木節子〕
- ◆海洋再生可能エネルギーをめぐる国連海洋法条約上の課題〔小島千枝〕
- ◆国際補償基金の解散に伴い顕在化した国際法上の論点と実務への影響について—1971 国際油濁補償基金の解散〔吉田晶子〕
- ◆安保理北朝鮮制裁における適用除外規定と実務上の取扱いの変化—人道支援を中心に〔竹内舞子〕
- ◆韓国向け輸出管理の運用の見直しに関する法的考察—GATT 第 21 条(b)(ii) をめぐる議論を中心に〔塩尻康太郎〕
- ◆条約法条約第 28 条の成立過程—不遡及原則と即時効原則の協働に着目して〔岡田淳〕
- ◆ICSID 仲裁判断の不履行と外交的保護—国内救済完了原則の適用をめぐる〔望月洋佑〕
- ◆国際刑事裁判所における文化財破壊に係る判例の展開と規程の解釈〔マンスフィールド・デビッド宥雅〕
- ◆国際刑事裁判所の判例〈国際人道法刑事法研究会〉
- ◆[判例 1] 国際刑事裁判所規程非締約国に関する犯罪に対する国際刑事裁判所の管轄権—バングラデシュ / ミャンマーの事態に関する第 3 予審裁判部による捜査開始許可決定(2019 年 11 月 14 日)〔竹村仁美〕
- ◆[判例 2] 国際刑事裁判所検察官の訴追裁量に対する裁判部による統制の範囲—アフガニスタン事態に対する捜査許可に関する上訴審決定(2020 年 3 月 5 日)〔越智 萌〕



中谷和弘 著

国家による一方的 意思表示と国際法

A5変・並製・228頁 定価：本体3,800円（税別） ISBN978-4-7972-3351-3 C3332

国家の一方的意思表示の国際法上の効果とは

国家が外交において行う一方的な意思表示（通告，一方的約束，一方的要求，放棄，抗議，承認）の国際法上の効果とは。我が国の領土問題や輸出管理法の域外適用といった外交上の懸案を，国際法の観点から考えるためにも有用の書。

〈目次〉

◆Ⅰ 言葉による一方的行為の国際法上の評価

- 1 はじめに
- 2 言葉による一方的行為の分類
- 3 言葉による一方的行為の有効性の条件
- 4 各類型毎にみる言葉による一方的行為の法的効果
- 5 言葉による一方的行為の国際関係における位置づけ

◆Ⅱ 国連国際法委員会「一方的宣言に関する指導原則」についての一考察

- 1 はじめに
- 2 「一方的宣言に関する指導原則」とコメントリーの内容
- 3 国家実行をめぐる
- 4 省 察
- 5 おわりに

◆Ⅲ 日本の領土関連問題と国際裁判対応

- 1 はじめに
- 2 日本の領土関連問題が国際裁判で争われたら
- 3 国際裁判対応に関するメモ

◆Ⅳ 輸出管理法令の域外適用と国際法

- 1 はじめに
- 2 輸出管理法令の域外適用とそれをめぐる対立
- 3 国際法における国家管轄権
- 4 輸出管理法令の域外適用の国際法上の評価
- 5 拡大されたボイコットの国際法上の評価
- 6 おわりに



国際私法年報 第22号 (2020)

256頁 3,200円(税別) ISBN978-4797229226 C3332

国際私法の現代的課題を考究

国際私法学の最新動向と最高水準を示す国際私法学会編集による学会機関誌最新号。本号では、特集1「国境を越えた子の保護をめぐる現状と課題」、特集2「施行10年を経た法の適用に関する通則法」を掲載。

◇特集1 国境を越えた子の保護をめぐる現状と課題—子奪取条約の運用をめぐる—◇

国外転居に関する課題と展望〔林 貴美〕

ハーグ子奪取条約と締約国間の協力体制—ハーグ子の保護条約並びに扶養料回収条約及び扶養義務議定書に関する考察〔西谷祐子〕

実務の観点から見た子奪取条約の運用をめぐる現状と課題〔黒田 愛〕



◇特集2 施行10年を経た法の適用に関する通則法 (承前)◇

財産関係の準拠法と法の適用に関する通則法の課題〔野村美明〕

◇学会報告から◇

投資紛争における並行的手続〔猪瀬貴道〕

越境河川汚染と「外国の法の考慮」—2000年のバイア・マーレ事故を題材として〔檜崎みどり〕

外国判決承認要件としての公序と実質的再審査禁止原則について—1898年ドイツ民訴法起草段階の議論を参考に〔釜谷真史〕

国際的権利保護制度の構築

— 多様な権利と国際民事執行・保全法 —

A5変・上製・396頁 定価：本体 7,200円（税別） ISBN978-4-7972-5475-4 C3332



民事執行・保全に関する、現代的重要テーマ

◆第1線の執筆陣が集い、金銭債権執行、子の引渡し、面会交流等民事執行・保全に関する重要テーマを考察◆〈第Ⅰ部：国際シンポジウム〉、〈第Ⅱ部：研究論文〉として、現代的な重要テーマを、広い視座から検討。計 16 論文を掲載し、幅広く時代の要請に応える。

【目次】

■ 第Ⅰ部 国際シンポジウム ■

◆第1章 民事事件における国際強制執行に関する最近の諸問題〔ペーター・ゴットヴァルト（芳賀雅顯 訳）〕

◆第2章 スイスにおける国境を越えた銀行口座の差押え—銀行口座の仮差押えに関するEU規則との比較〔アレクサンダー・R. マルクス（安永祐司 訳）〕

◆第3章 執行にかかる属地主義と銀行口座の越境的差し押さえ〔ジル・クニベルティ（長田真里 訳）〕

◆第4章 子の国際的連れ去り事件における子の返還執行〔ダグマー・ケスター・バルチン（渡辺惺之 訳）〕

◆第5章 台湾法における子の引渡しの執行〔林秀雄（小林貴典 訳）〕

◆第6章 別居中の両親間における面会交流権の執行〔ミヒャエル・ケスター（中野俊一郎 訳）〕

◆第7章 親の別居・離婚と親子の面会交流の実効性の確保〔二宮周平〕

◆第8章 台湾における子の引渡しに関する国際裁判管轄〔何 佳芳〕

■ 第Ⅱ部 研究論文 ■

◆第9章 外国国家に対する民事執行の可能性—ソブリン債に係る償還等請求事件を素材として〔長谷部由起子〕

◆第10章 管轄合意の実効化と訴訟差止命令の承認〔的場朝子〕

◆第11章 執行判決訴訟の訴訟物と既判力の客観的範囲〔芳賀雅顯〕

◆第12章 仲裁人の公正性・独立性と仲裁判断の取消し〔我妻 学〕

◆第13章 外国仲裁判断承認要件としての仲裁判断の「拘束性」—ニューヨーク条約5条1項e号および仲裁法45条2項7号の解釈試論〔長田真里〕

◆第14章 仲裁廷の発令した暫定保全措置の執行可能性に関するドイツの状況について〔安永祐司〕

◆第15章 実施法に基づく子の返還の実現についての一考察—紛争の長期化・複雑化の予防の観点から〔村上正子〕

◆第16章 国際保全管轄に関する覚書〔酒井 一〕

国際人権・刑事法概論〔第2版〕

A5変・並製・432頁 定価：本体3,900円（税別） ISBN9784797228052 C3332

国際人権・刑事法の現在地 ― 人気の書が大幅に増強して再登場！

進展著しい国際人権法，変転著しい国際刑事法。外交官，国際刑事裁判所（ICC）裁判官など実務家として，そして研究者として，双方のフィールドに精通する著者による待望の第2版。種々の条約の制定・改正，国際社会での出来事をはじめ，2004年（平成16年）の初版刊行以降の動向を丹念にフォローする。ますます充実の国際人権・刑事法のスタンダード教科書。

◇はじめに

◆第1部◆国際社会の構造変化と国際法

- ◆第1章 近代国際法の基本構造——すべての，出発点
- ◆第2章 国際社会の構造変化と国際法（その1）——現代国際社会の特質とアクターの変化
- ◆第3章 国際社会の構造変化と国際法（その2）——規範の変化
- ◆第4章 国家管轄権の内容とその拡大——誰が，誰の面倒を見るか
- ◆第5章 条約の作成，締結，適用——日本の場合
- ◆第1部の小括と第2部，第3部への序論

◆第2部◆人権の国際的保障

- ◆第6章 人権の国際的保障の歴史——ヒトは如何にして人になったか
- ◆第7章 国連人権システムの活動——国際政治と人権のはざま
- ◆第8章 国際人権規約と人権条約システム——国際社会の憲法
- ◆第9章 外国人の権利——something rich and strange
- ◆第10章 難民と国際法——近代国際社会の逆説
- ◆第11章 人種差別，マイノリティの権利——アイデンティティと寛容の国際法
- ◆第12章 ジェンダーと人権——人類の，過半数
- ◆第13章 児童の権利，障害者の権利——わたしのことはわたしがきめる
- ◆第14章 日本と国際人権条約——何が問題なのか
- ◆第15章 国際人権とは何か——混ぜると，安心？

◆第3部◆国際刑事法と国際社会の共通利益

- ◆第16章 国際刑事法の意義——海賊からインターネット・ポルノまで
- ◆第17章 国際刑事司法協力——犯人を，追い詰める
- ◆第18章 ジェノサイド，人道に対する罪，戦争犯罪——最も深刻な犯罪
- ◆第19章 国際人権法と刑事処罰——最も強力な人権保障
- ◆第20章 コア・クライムと人権侵害の訴追手続——ほんとうに，できるの？
- ◆第21章 テロリズムと国際法——安全を守る国際法？
- ◆第22章 薬物犯罪，資金洗浄——マフィアと闘う国際法
- ◆第23章 国際組織犯罪——みんなでやれば，怖い
- ◆第24章 腐敗，サイバー犯罪——国際刑事法の最先端

◇おわりに——国際社会，法，正義



国際機関のリーガル・アドバイザー

国際枠組みを動かすプロフェッショナルの世界

A5変・並製・192頁 定価：本体1,800円（税別） ISBN978-4-7972-8154-5 C3332

国際機関で活躍したい方々必読！

【国際機関で活躍してきた著者のリアルな経験を1冊に！—今後、国際社会で活躍したい学生や社会人必読の書】国際枠組みを動かすプロフェッショナルの世界を、様々なエピソードを交えて紹介。国際法、海洋法の国際実務や多言語社会で働いた経験を、基本知識の説明も含め、著者しか語り得ない視点からビビッドに語る。国際社会の一員として、日本、そして自らを理解するためにも有用の書。

【目次】

◆第Ⅰ部 国際油濁補償基金（IOPCF）のリーガル・カウンセラー

- ◇ 1 国際油濁補償基金制度
- ◇ 2 Job Description——基金のリーガル・カウンセラーの仕事
- ◇ 3 加盟国の条約履行支援
- ◇ 4 基金のリスク・マネジメント
- ◇ 5 国際油濁補償基金の清算

◆第Ⅱ部 リーガル・アドバイザーという仕事

- ◇ 6 リーガル・アドバイザーという仕事
- ◇ 7 Lingua Franca——国際機関の言語問題
- ◇ 8 国際法律事務所の世界

◆第Ⅲ部 外航海運の世界と国際法

- ◇ 9 国連海洋法条約（UNCLOS）と国際海事機関（IMO）
- ◇ 10 海洋安全保障と国際法

◆第Ⅳ部 地球の裏側から見た国際社会

- ◇ 11 地球の裏側から見た国際社会
- ◇ 12 The Remains of the day——経済的影響力を増す新興国、疲弊する西側先進国
- ◇ 13 デジタル化と英語
- ◇ 14 国際機関の理想と現実
- ◇ 15 国際社会と法の支配



【著者紹介】

吉田 晶子（よしだ・あきこ）

1988年京都大学法学部卒、2003年ニューヨーク大学法科大学院法学修士（LLM）

1988年運輸省（現国土交通省）に入省し、鉄道、航空、海運、自動車各分野の行政、外航海運分野を中心とした国際機関対応、インフラ海外展開、インバウンド観光などの仕事に携わる。国土交通省海事局危機管理室長、大臣官房秘書室長、大臣官房審議官（国際）、関東運輸局長などを歴任。

2010年～2015年まで国際油濁補償基金（IOPCF）法律顧問

国際法学会所属

国際人権 第31号 (2020)

150頁 3,300円(税別) ISBN978-4-7972-2831-1 C3332

◆新型コロナ巻頭論文と刑事法特集



理事長(江島)による巻頭論文は新型コロナを素材に人権志向的統治機構を構想する。論説は国籍概念を史的展開から再検討する。特集1では外国事業者からの通信情報取得やネット上の情報収集活動を扱う。特集2には本誌前号の判例紹介に続き、韓国大法院判決に関する論考も収める。更に元 ICC 判事(尾崎)の講演や元最高裁判事(泉)による判例集の書評等も掲載する。

【目次】

〈特別寄稿〉

・COVID-19 と人権——人権志向的統治機構の可能性[江島晶子]

〈特別講演〉

・自由を奪われた子どもに関する国連グローバル・スタディ——その主要な認定と勧告の簡単な要約[マンフレッド・ノヴァック / マヌ・クリシュン (東澤 靖 訳)]

・刑事法の「国際化」——国際刑事裁判所の試み[尾崎久仁子]

〈論説〉

・「経済籍」と「政治籍」の政治文化的融合としての近代的国籍——フランスにおけるその成立史と現代的意義・限界[小畑 郁]

【特集1 刑事法と国際人権】

〈特集1〉企画趣旨——「刑事法と国際人権」[寺谷広司]

テーマ1：国際平面における刑事法の展開1

・国際刑事法における基本的人権の保障——女性と性的マイノリティの権利を中心に[ステファニー・クープ]

・刑事捜査における外国事業者からの通信情報の取得と国際人権[石井由梨佳]

テーマ2：国際平面における刑事法の展開2

・国際人権法の国際人道法に対するインパクトとその意味[田村恵理子]

テーマ3：国内刑事実践の国際的評価・捜査員による情報収集活動における国内法・日本国憲法上の問題[實原隆志]

・日本型刑事拘禁の課題と国際人権基準[田鎖麻衣子]

〈特集2 判例研究〉

・「徴用工」事件大法院判決について[山本晴太]

・性同一性障害者特例法の生殖不能要件に関する最高裁決定の検討——国際人権法の視点もふまえて[大山知康]

・最高裁決定法廷意見と補足意見の意義と課題[二宮周平]

〈特集3 海外の研究動向〉

・韓国における国際人権条約の適用の現況と課題——裁判所の判決を中心に[李 惠暎 (申 惠丰 訳)]

〈国際・国内人権機関の現在〉

・日本の人権外交[富山未来仁]

・人種差別撤廃委員会の活動について[洪 恵子]

・障害者権利委員会の近年の活動状況と構造的課題[石川 准]

・京都コンGRESと弁護士——第14回国連コンGRES(京都)に向けた日弁連の活動[東澤 靖]

〈公募論文〉

・アイヌ民族による国連運動と「先住民族」承認への道のり[永井文也]

・欧州人権裁判所と欧州人権条約締約国における法的対話にみる課題の一事例——フランスにおける Eon 対フランス事件判決の受容の場合[兵田愛子]

〈インタレストグループ報告〉

・ICC インタレストグループ報告[寺中 誠]

・人権指標に関する研究[棟居徳子]

・「外国人の出入国と在留」研究グループ[門田 孝]

・多層的人権保障システム下での憲法の国際化・国際法の憲法化研究グループ[小畑 郁]

〈判例紹介〉

・ホロコーストの否定と表現の自由——パステルス対ドイツ事件(欧州人権裁判所 2019 年 10 月 3 日判決)[村上 玲]

・ロヒンギャ族に対するジェノサイド防止のための仮保全措置命令——ジェノサイド条約の適用事件(ガンビア対ミャンマー)(国際司法裁判所 2020 年 1 月 23 日仮保全措置命令)[稲角光恵]

・上陸拒否の特例：退去強制となった外国人に対する「留学」在留資格証明書の交付——在留資格認定証明書交付処分仮の義務付け申立却下決定に対する即時抗告事件(名古屋高等裁判所 2019(平成31)年3月27日決定 LEX/DB25562968)[前田直子]

・人道に対する犯罪および戦争犯罪の間接共同正犯——ンタガンダ事件(国際刑事裁判所 (ICC) 2019 年 7 月 8 日第一審裁判部第六法廷判決・同 2019 年 11 月 7 日量刑判決)[久保田隆]

〈書評〉

・川村真理『難民問題と国際法制度の動態』(信山社, 2019 年)[加藤雄大]

・安藤仁介『実証の国際法学』(信山社, 2018 年), 芹田健太郎・坂元茂樹・薬師寺公夫・浅田正彦・酒井啓亘編『実証の国際法学の継承 安藤仁介先生追悼』(信山社, 2019 年)[坂元茂樹]

・小畑郁・江島晶子・北村泰三・建石真公子・戸波江二編『ヨーロッパ人権裁判所の判例 II』(信山社, 2019 年)[泉 徳治]

〈資料〉

・国際人権法主要文献目録[中尾元紀]

・国際人権法主要国内判例書誌情報(7)[吉田曉永]

・2020 年国際人権法学会報——IHRLA REPORT' 20[事務局]

2020 年 12 月全 13 巻完結！

芹田健太郎著作集

◆全 13 巻刊行中◆

「とき」と「ところ」を背景に「人」と「国」を捉え、具体的人間観、具体的国家観を構築。歴史や先例から人間の知的営為を凝視し、超国家的な人類の共同意思によって支持される国際法・国際人権法を希求する。待望の全 13 巻完結！



第 1 巻 人類史と国際社会／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8181-1)

第 2 巻 地球社会の人権論／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8182-8)

第 3 巻 永住者の権利／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8183-5)

第 4 巻 犯人引渡と庇護権の展開／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8184-2)

第 5 巻 欧米の揺籃期国際人権保障／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8185-9)

第 6 巻 開発援助と緊急援助／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8186-6)

第 7 巻 環境法・公害法と海洋法／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8187-3)

第 8 巻 島の領有と大陸棚・排他的経済水域／定価：本体 8,000 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8188-0)

第 9 巻 日本の領土／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8189-7)

第 10 巻 紛争処理・条約締結・租税免除・戦後処理／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8190-3)

第 11 巻 新国家と国際社会／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8191-0)

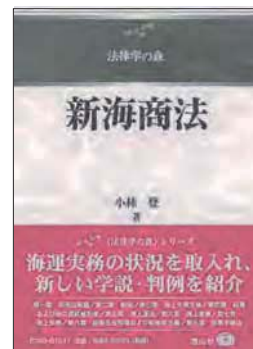
第 12 巻 憲法と国際環境〔別巻Ⅰ〕／定価：本体 6,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8192-7)

第 13 巻 随想・社会時評・講演録〔別巻Ⅱ〕／定価：本体 9,500 円（税別）
(ISBN978-4-7972-8193-4)

新海商法

A5 変・上製・564 頁 定価：本体 8,800 円（税別） ISBN978-4-7972-2390-3 C3332

研究から海運実務まで有用の体系書



平成 30 年改正商法（明 32 法 48）と、国際海上物品運送法（昭 32 法 172）を中心に、現在の我が国の海商法の学説・判例を、海運実務の状況を取入れて詳説。平成 30 年商法改正の際に、法制審議会商法（運送・海商関係）部会委員として活躍した著者による信頼の書。総 500 ページを超える充実の内容で、研究から実務まで、幅広いニーズに応える。

【目 次】

◆第一章 海商法総論

第一節 海商法の意義と特異性

第二節 法 源

第三節 歴史・各国法

第四節 国際的統一

◆第二章 船 舶

第一節 船舶の意義

第二節 船舶の種類

第三節 船舶の性質

第四節 船舶の公示

第五節 船舶所有権

◆第三章 海上企業主体

第一節 船舶所有者

第二節 船舶共有者

第三節 船舶賃借人

第四節 定期傭船者

第五節 船主責任制限等

◆第四章 船員および他の運航補助者

第一節 船 長

第二節 海 員

第三節 水 先 人

◆第五章 海上運送

第一節 海上物品運送

第二節 海上旅客運送

◆第六章 海上損害

第一節 船舶の衝突

第二節 海 難 救 助

第三節 共 同 海 損

◆第七章 海上保険

第一節 総 論

第二節 契約の成立

第三節 契約の内容

第四節 契約の効力

第五節 保険委付の廃止

◆第八章 船舶先取特権および船舶抵当権

第一節 船舶先取特権

第二節 船舶抵当権

◆第九章 海事手続法

第一節 海事裁判管轄

第二節 準 拠 法

第三節 船舶に対する強制執行等

第四節 海 事 仲 裁

漁業法制史

上巻 : A5・上製・672頁 ISBN9784797282412 C3332 定価 : 12,000 円
下巻 : A5・上製・672頁 ISBN9784797282429 C3332 定価 : 12,000 円

現代に繋がる価値観、待望の漁業法通史



「2000年に及ぶ歴史をみるとき、それはまた漁業の持続可能性を求めた取組であることに気づかされる」(本書「はしがき」より)——現代に繋がる価値観を持つ、待望の漁業法通史。わが国漁業の栄光と苦悩の歴史を法制面から考察し、法政策・立法の背景事情まで、具体的な事例を交えて分かりやすく解説。漁業生産の面だけではなく、流通面の発展についても仔細に検討した待望の書。

【上巻】

- ◆序 章
- ◆第1章 古代における漁業秩序の形成
- ◆第2章 中世における漁業秩序
- ◆第3章 近世の漁業秩序
- ◆第4章 明治時代初期における漁業秩序の制度化
- ◆第5章 漁業組合準則の制定
- ◆第6章 村田案の議会提出
- ◆第7章 明治34年漁業法の制定
- ◆第8章 明治43年漁業法の制定
- ◆第9章 明治末期から大正・昭和初期における漁業・水産業
- ◆第10章 昭和初期の漁業法改正
- ◆第11章 戦時体制

【下巻】

- ◆第12章 新たな漁業法の制定
- ◆第13章 漁業法における水産資源保護規定と水産資源保護法
- ◆第14章 昭和37年の漁業法および水産業協同組合法の改正
- ◆第15章 沿岸漁業等振興法の制定など
- ◆第16章 200海里時代への対応
- ◆第17章 規制改革と漁業制度改革の動き
- ◆第18章 東日本大震災と復興特別区域法
- ◆第19章 水産特区の適用
- ◆第20章 平成30年の漁業法改正
- ◆第21章 国際捕鯨取締条約からの脱退
- ◆終 章 漁業法制の発展経緯の考察